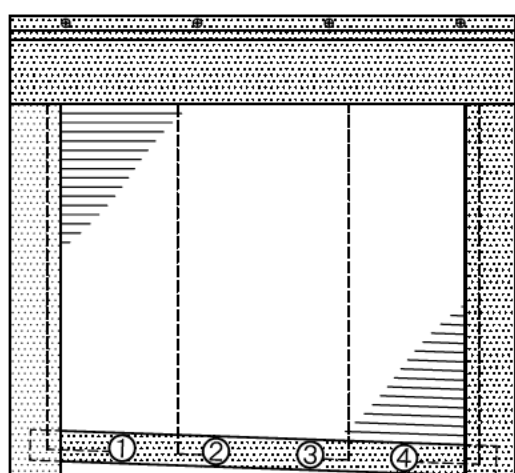


調整駒①～④をネジを緩め、コードが張る方向に移動させた後、その位置でネジを締め、固定します。

なお、調整駒の移動は、スライドバーの位置及び傾きを確かめながら行って下さい。

- ポイント** 調整駒の移動は、①から順に行うと確実に調整できます。1つのネジを緩めたら、再び固定するまで、他の調整駒のネジは緩めないようにします。
- お願い** 調整駒のネジを緩めている間は、スライドバーの落下に注意し、必要であれば持つなどして支えて下さい。

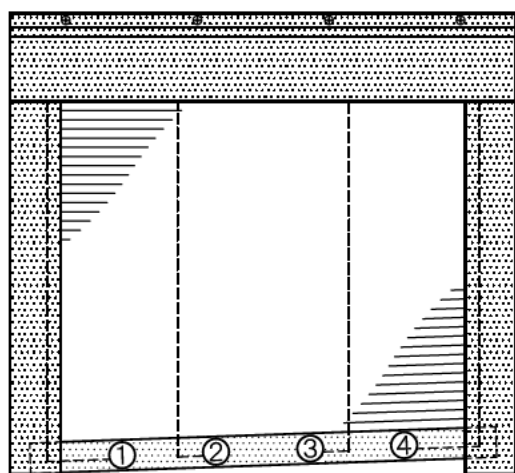
## ■スライドバーが上下に傾いている時



調整駒②と調整駒③のネジを緩めた後、調整駒①をネジを緩め、コードが緩む方向に移動させ、スライドバーの傾きを直します。傾きが直ったら、その位置でネジを締め、調整駒①を固定します。

次に、調整駒②と調整駒③を、4本全てのコードが均等な張りとなるような位置まで移動させた後、その位置でネジを締め、固定します。

- お願い** 調整駒のネジを緩めている間は、スライドバーの落下に注意し、必要であれば持つなどして支えて下さい。



調整駒②と調整駒③のネジを緩めた後、調整駒④をネジを緩め、コードが緩む方向に移動させ、スライドバーの傾きを直します。傾きが直ったら、その位置でネジを締め、調整駒④を固定します。

次に、調整駒②と調整駒③を、4本全てのコードが均等な張りとなるような位置まで移動させた後、その位置でネジを締め、固定します。

- お願い** 調整駒のネジを緩めている間は、スライドバーの落下に注意し、必要であれば持つなどして支えて下さい。

## (2) 特殊な調整

スクリーンの開閉範囲を広げる、または狭める必要がある場合は、別紙「スクリーン開閉範囲の変更」を参照して下さい。

## ■製品に関するお問い合わせ先

セイキ総業株式会社 〒359-0021 埼玉県所沢市東所沢5-10-3 Tel 04-2951-7221 Fax 04-2951-7220

# ハニカム・サーモスクリーン

電動ウィンドウタイプ  
ガイドレール仕様

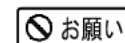
# 取り扱い説明書

0301-3

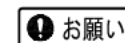
安全のために必ずお守り下さい。



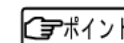
**注意** この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。



**お願い** 「禁止」を示しています。

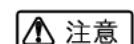


**お願い** 「必ず行っていたく事」を示しています。



**ポイント** 「作業上」「操作上」の勘所を示しています。

ハニカム・サーモスクリーンは、正しくご使用いただければ、長い間問題なくお使いいただけるように設計されています。お取付け前に、この説明書を必ず最後までお読み下さい。また、本説明書はいつでも読めるよう保管して下さい。



**注意** 本製品の施工については必ず説明書に従って下さい。

## 1 取り扱い上のご注意



- お願い**
- スクリーンには、タバコなどの火気は絶対に近づけないで下さい。
  - スクリーンに寄りかかったり、無理に引っ張ったりしないで下さい。製品、またはスクリーンの外れや落下、転落事故などにつながり、けがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
  - スクリーンの操作時は、製品に触れたり、スライドバーに顔や手などを近づけないで下さい。製品にはさまると、けがの原因となります。
  - 製品の作動の妨げになる位置に、物を置かないで下さい。開閉操作が正常に行われないと、故障することがあります。
- お願い**
- 万一、スクリーンの開閉が操作不能になった場合や、煙が出る、へんな臭いがするなど、異常な状態が見られた場合は、すぐに（電源スイッチを切るか、電源プラグを抜いて）電源を切り、販売店、または取り扱い業者に相談して下さい。そのまま放置すると火災が発生したり、感電したりすることがあります。

## 2 操作方法

スクリーンの開閉は、リモコン、またはスイッチを下記の要領で操作し行います。<sup>※1</sup> 操作後、スクリーンが閉まりきらない、スライドバーの傾きが気になるなど、調整が必要な場合は、次頁以降をお読み下さい。

- |                     |   |                   |
|---------------------|---|-------------------|
| ・スクリーンを開く（収納する）     | ： | ” 開 ” のボタンを押します。  |
| ・スクリーンを閉じる          | ： | ” 閉 ” のボタンを押します。  |
| ・任意の位置でスクリーンの開閉を止める | ： | ” 停止 ” のボタンを押します。 |

※1：本製品は、モーターによって、スクリーンを作動させます。スクリーンの開閉を連続して行っていると、モーターは、サーモスタットを働かせて、一時的に停止することがあります。停止後、しばらく（約3分）経って冷却されると、モーターは、自動的に復帰します。モーターが復帰してもスクリーンが作動しない場合は、再びリモコン、またはスイッチを操作して下さい。

### 3 調整方法

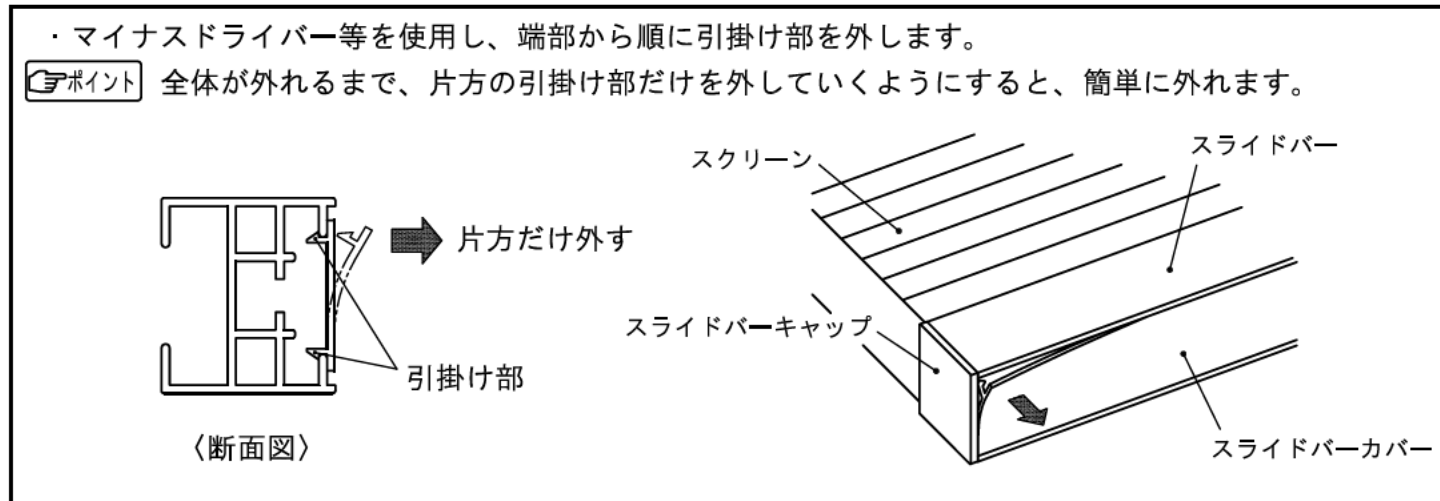
#### 1. スライドバーカバーの取外し及び調整駒について

調整を行う前に、スライドバーカバーを取外す必要があります。どのような調整が必要か、事前に確認したい場合は、次頁以降を先にお読み下さい。

※以下は、スクリーン収納側を上として説明しています。

##### (1) スライドバーカバーの取外し

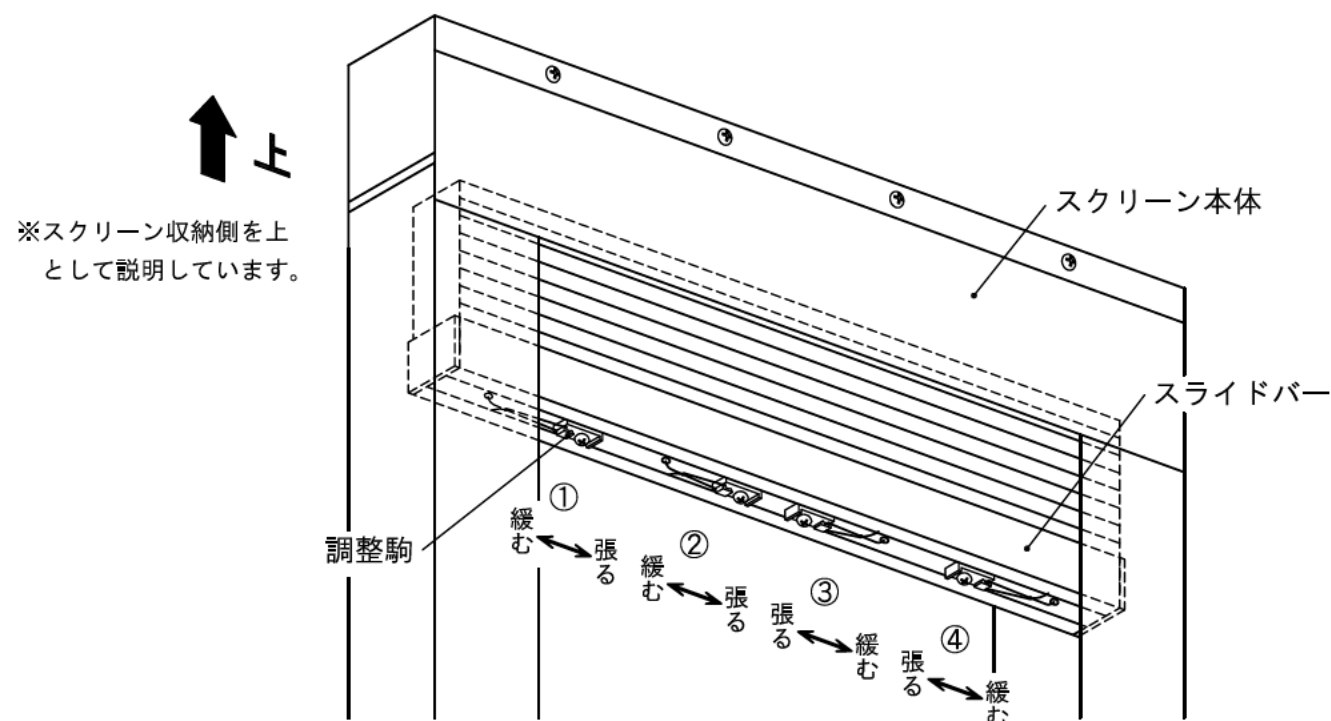
調整を行う際は、スライドバーカバーを次の要領で取外して下さい。



##### (2) 調整駒について

スライドバーには、左右に移動することができる調整駒が取付いています。スクリーンはコードを巻き上げたり、開放したりすることによって、閉じたり開いたりします。調整駒はスクリーン本体内部に巻かれているコードの端部を固定するために、スライドバーにネジとナットで固定されています。調整駒は、そのネジを緩めると左右に動かすことができ、またネジを締めるとその位置で固定されます。

調整駒はコードの本数と同じ、4個取付いています。それぞれの調整駒に対する番号及び調整の方向は、下図のようになります。以下の説明では、それぞれの調整駒を示す場合、「調整駒①」のように表現しています。



### 2. 調整方法

0301-3

本製品は、出荷時に施工場所の傾斜に合わせて検査を実施していますが、施工場所や施工の仕方により、製品取付け後に調整を必要とする場合があります。

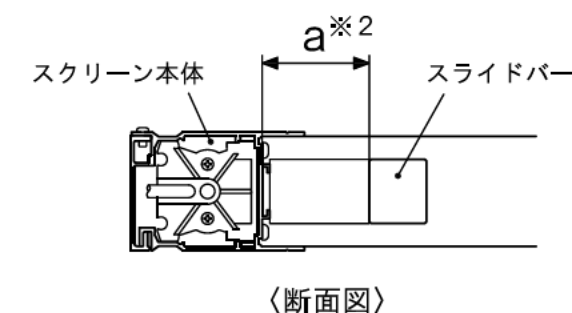
施工後、開閉操作を行った際、スクリーンが閉まりきらなかったり、スライドバーの傾きが気になる場合は、それぞれの状態に合った調整を行って下さい。

**①お願い** 調整は、必ず以下の条件を満たすように行って下さい。

#### ●スクリーンを完全に収納させた時、図に示す寸法 $a^{※2}$ が、計算式の数値を下まわらない位置で停止すること

**①お願い** 寸法  $a$  が計算式の数値より小さくなる位置まで収納させようとした場合、コードに異常な負荷がかかり、故障の原因となります。

**ポイント** 寸法  $a$  は、最低限必要な寸法です。計算結果からさらに20ミリ足した値が最適な寸法となります。ここではスクリーンを広げた時の停止位置を基準とするため、確認のみ行います。



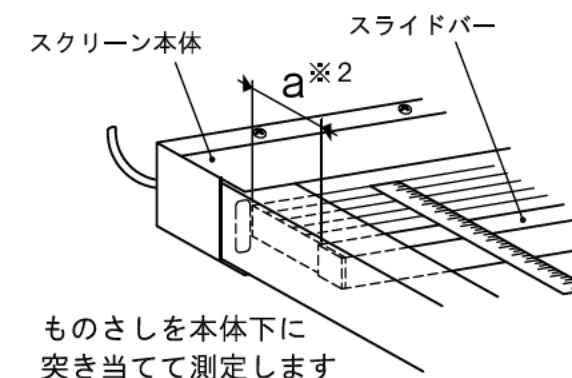
##### ※2：a 寸法計算式

〈スクリーンが採光タイプの場合〉

$$a = \text{スクリーン高さ} \times (20 / 1000) \text{ ミリ}$$

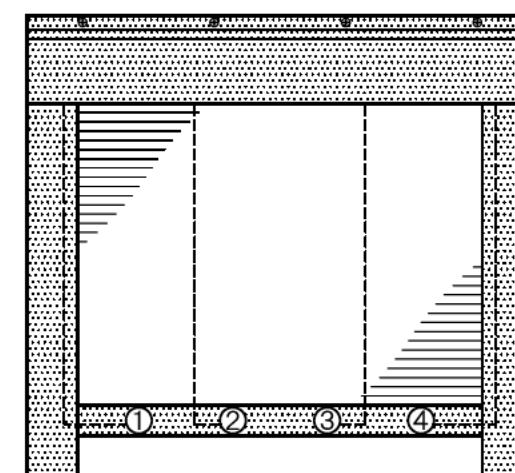
〈スクリーンが防炎採光タイプ、または遮光タイプの場合〉

$$a = \text{スクリーン高さ} \times (30 / 1000) \text{ ミリ}$$



##### (1) 通常の調整

#### ■スクリーンが閉まりきらない時



調整駒①～④をネジを緩め、コードが緩む方向に移動させた後、その位置でネジを締め、固定します。

なお、調整駒の移動は、スライドバーの位置及び傾きを確認しながら行って下さい。

**ポイント** 調整駒の移動は、①から順に行うと確実に調整できます。1つのネジを緩めたら、再び固定するまで、他の調整駒のネジは緩めないようにします。

**①お願い** 調整駒のネジを緩めている間は、スライドバーの落下に注意し、必要であれば持つなどして支えて下さい。

#### ■スクリーンが開ききらない時